



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
 コード番号 7792 URL <https://colantotte.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小松 克巳
 問合せ先責任者（役職名） 取締役最高財務責任者（氏名） 井阪 義昭 (TEL) 06-6258-7350
 半期報告書提出予定日 2026年5月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	4,330	34.1	1,117	18.2	1,127	17.3	768	3.3
2025年9月期中間期	3,228	11.8	945	27.6	961	29.5	743	47.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	84.52	84.21
2025年9月期中間期	82.08	81.50

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	7,176	5,554	77.4
2025年9月期	6,717	5,167	76.9

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 5,554百万円 2025年9月期 5,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2026年9月期	—	0.00			
2026年9月期（予想）			—	44.00	44.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	30.1	2,100	16.0	2,100	14.9	1,400	5.4	153.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期中間期	9,096,900株	2025年9月期	9,092,100株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年9月期中間期	42株	2025年9月期	42株
-------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	9,093,658株	2025年9月期中間期	9,061,873株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復傾向となりました。一方で、物価高の影響や海外経済の減速といった下押し要因に加えて、中東情勢や米国の通商政策を巡る動向にも注意が必要であり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が営んでいる事業につきましては、当社の強みであるスポーツ市場において、健康への関心の高まりもあり堅調に推移いたしました。

このような経営環境の中、「本気の実現」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当中間会計期間につきましては、新製品の市場投入やクリスマスなどのギフト需要への施策を行うとともに、テレビCMや新聞広告、様々なキャンペーン施策、当社契約選手によるイベントの開催、SNSへの発信等マーケティング活動の強化に取り組みました。さらに、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、通販チャネルとの取引において高価格帯商品の販売が好調に推移したほか、リカバリーウェアを軸に既存顧客の深耕と新規顧客の獲得を推進した結果、売上高は2,188,715千円(前年同期比9.5%増)となりました。

イーコマース部門につきましては、テレビCM、SNS等を核としたマーケティング活動の強化による認知度の向上及びキャンペーン施策、クリスマスに向けたギフト需要への施策等により、好調に推移いたしました。以上の結果、売上高は1,564,008千円(前年同期比72.8%増)となりました。

リテール部門につきましては、キャンペーン施策やクリスマスなどのギフト需要への施策、テレビCMの効果等により、来店客数が増加し堅調に推移いたしました。また、2025年10月には「イオンモール仙台上杉」(宮城県仙台市)、同年11月には「三井アウトレットパーク岡崎」(愛知県岡崎市)、同年12月には「ららぽーと門真」(大阪府門真市)、2026年3月には「西宮阪急」(兵庫県西宮市)に新規出店いたしました。その結果、売上高は577,696千円(前年同期比77.5%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高につきましては、4,330,420千円(前年同期比34.1%増)となりました。利益面につきましては、高付加価値商品が堅調に推移していることに加え、イーコマース部門及びリテール部門が好調に推移しており、認知拡大及び販促強化を目的とした広告宣伝等の先行投資を積極的に行ったことから、営業利益は1,117,488千円(前年同期比18.2%増)、経常利益は1,127,672千円(前年同期比17.3%増)となりました。中間純利益は、前年同期における「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に示された分類の見直しに基づく、繰延税金資産の追加計上の影響もあり、768,587千円(前年同期比3.3%増)となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとしているため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の流動資産は4,923,552千円となり、前事業年度末と比較して97,388千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が65,108千円、電子記録債権が57,564千円それぞれ減少した一方で、製品が179,103千円増加したことによるものであります。

固定資産は2,252,597千円となり、前事業年度末と比較して361,752千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が363,726千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当中間会計期間末の資産合計は7,176,150千円となり、前事業年度末と比較して459,140千円増加いたしました。

(負債)

当中間会計期間末の流動負債は1,595,878千円となり、前事業年度末と比較して68,582千円増加いたしました。これは主に、電子記録債務が95,610千円、株主優待引当金が42,437千円それぞれ減少した一方で、その他流動負債が

192,981千円増加したことによるものであります。

固定負債は25,816千円となり、前事業年度末と比較して3,923千円増加いたしました。これは主に、リース債務が1,617千円減少した一方で、資産除去債務が5,541千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当中間会計期間末の負債合計は1,621,695千円となり、前事業年度末と比較して72,505千円増加いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は5,554,455千円となり、前事業年度末と比較して386,634千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が386,721千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて65,108千円減少し、2,114,917千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は486,572千円となりました。これは主に法人税等の支払額331,042千円、棚卸資産の増加額147,968千円、仕入債務の減少額63,016千円があったものの、税引前中間純利益1,127,672千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は168,952千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出158,501千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は382,871千円となりました。これは主に配当金の支払額381,517千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、本日(2026年5月8日)公表いたしました「2026年9月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,180,025	2,114,917
受取手形及び売掛金	679,850	707,689
電子記録債権	243,940	186,375
製品	875,744	1,054,847
仕掛品	300,067	273,172
原材料及び貯蔵品	447,647	443,407
その他	99,719	143,857
貸倒引当金	△831	△715
流動資産合計	4,826,164	4,923,552
固定資産		
有形固定資産		
土地	730,955	730,955
その他(純額)	636,474	1,000,201
有形固定資産合計	1,367,430	1,731,156
無形固定資産		
	29,860	25,500
投資その他の資産		
投資その他の資産	494,286	496,672
貸倒引当金	△731	△731
投資その他の資産合計	493,554	495,940
固定資産合計	1,890,845	2,252,597
資産合計	6,717,010	7,176,150

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	162,608	66,998
買掛金	274,813	305,046
未払法人税等	351,389	364,062
賞与引当金	85,895	49,805
製品保証引当金	10,177	12,681
株主優待引当金	46,874	4,437
クーポン引当金	6,507	10,836
その他	589,028	782,009
流動負債合計	1,527,296	1,595,878
固定負債		
リース債務	9,667	8,050
資産除去債務	12,225	17,766
固定負債合計	21,893	25,816
負債合計	1,549,189	1,621,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,269	489,401
資本剰余金	479,269	479,401
利益剰余金	4,202,095	4,588,816
自己株式	△29	△29
株主資本合計	5,170,603	5,557,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,782	△3,133
評価・換算差額等合計	△2,782	△3,133
純資産合計	5,167,820	5,554,455
負債純資産合計	6,717,010	7,176,150

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,228,991	4,330,420
売上原価	1,060,431	1,363,696
売上総利益	2,168,560	2,966,724
販売費及び一般管理費	1,223,152	1,849,235
営業利益	945,408	1,117,488
営業外収益		
受取利息	941	942
為替差益	4,501	7,328
受取和解金	10,000	—
その他	543	1,914
営業外収益合計	15,986	10,184
経常利益	961,394	1,127,672
税引前中間純利益	961,394	1,127,672
法人税、住民税及び事業税	248,858	340,731
法人税等調整額	△31,290	18,353
法人税等合計	217,568	359,085
中間純利益	743,826	768,587

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	961,394	1,127,672
減価償却費	30,636	32,801
貸倒引当金の増減額(△は減少)	331	△116
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,988	△36,090
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,622	2,503
クーポン引当金の増減額(△は減少)	554	4,328
受取利息	△941	△942
為替差損益(△は益)	△4,520	△7,330
売上債権の増減額(△は増加)	33,513	29,725
棚卸資産の増減額(△は増加)	△256,619	△147,968
仕入債務の増減額(△は減少)	162,548	△63,016
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△42,437
受取和解金	△10,000	—
未払金の増減額(△は減少)	23,704	△29,000
その他	△106,912	△53,640
小計	808,323	816,490
利息の受取額	944	944
和解金の受取額	5,090	180
法人税等の支払額	△273,915	△331,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	540,442	486,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,088	△158,501
無形固定資産の取得による支出	△12,812	△810
その他	3,478	△9,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,421	△168,952
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	198	264
リース債務の返済による支出	△1,359	△1,617
配当金の支払額	△271,479	△381,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,641	△382,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	238,468	△65,108
現金及び現金同等物の期首残高	1,757,188	2,180,025
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,995,657	2,114,917

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとしているため、記載を省略しております。